



穴をあけて綴じてください



社宝である四神の白虎像 (撮影・石原裕之)

詣 崇敬会会員の昇殿参拝

初

平成10年1月3日 午前10時30分(第1回)
午前11時30分(第2回)

1月3日の午前10時30分と11時30分の2回、崇敬会会員とその家族にかぎり、昇殿参拝の式をおこない、神社から神酒と特別な御礼が授与されます。

崇敬会では、新春記帳所を設けますので、ご記帳のうえ、御供物をお受け取りください。なお境内には、甘酒進上の席も用意いたします。多数ご参拝ください。

なお恒例の流鏝馬祭は1月7日午後1時より境内で。
また第21回六郷のどんと焼きは、六郷橋下流300mの河原で1月7日午後1時30分点火。

代田^秀雄 足利^幸吉 両氏表彰される

戦争のため中断していた六郷神社の獅子舞を、昭和23年に復活してから50年、1000名を超える少年少女にその技能を伝授し、郷土の無形民俗文化財の護持に努めてきた両氏に、11月28日、明治神宮の参集殿において、社団法人日本善行会(会長・鈴木俊一)から、表彰状と善行章が贈られました。

六郷神社境内の石造物あんない

その2

崇敬会会報15号に引き続き、六郷神社境内の石造物とその銘文について、解説を
まじえつつご紹介いたします（平野順治記）。

○脇参道の社号標

(正面)
郷六郷神社

(左側面)

正三位伯爵 葉室長通謹書

(裏面)

昭和七年六月竣工

奉納者 当社氏子総代兼参与 清水竹蔵
八幡神社兼氏子総代 小泉半兵衛

石工 田川治郎吉

常陸産花崗石。高さ一丈二尺。一尺五寸角。建碑費は境柵などの雑費を含め二百五十円。戦後、郷社の二字はセメントで埋められ、境柵も失われている。

奉納者の清水竹蔵は、大正十三年八月より同十四年十二月まで六郷村村長。明治三十八年から氏子総代を務め、昭和六年二月十一日、東京府知事推薦の参与となる。同二十年十一月八日没、八十一歳。南六郷三丁目の八幡神社総代を兼ねた小泉半兵衛は、清水竹蔵と同

じ慶応元年（一八六五）の生まれ。昭和六年一月には八幡神社社頭の敷石を寄進している。昭和十八年十一月二十一日没。七十九歳。

○脇参道の大鳥居

左柱石(背面)

昭和十年五月建

右柱石(背面)

六郷神社内

久能タカ

稲田産花崗石造八幡型鳥居。総高一丈八尺六寸。円柱直径一尺五寸。笠石の長さ二丈四尺。建築費一千元。昭和十年五月十九日竣工式挙行。六郷神社の文字を浮き彫りした石額は、現在とりはずされているが、海軍大将有馬良橘の揮毫である。

久能タカは六郷神社社司・久能尚宣の妻。弘月流の生花をはじめ箏曲、茶道、裁縫を多くの子女に教授し、戦後の神社護持にも力を尽した。昭和三十七年三月十二日没。七十三歳。

久能尚宣が社司となったのは明治四十三年

四月十二日。氏子中の人望をあつめ、旧の拝殿、神楽殿、社務所などを建設。とくに鎮座八百八十年記念事業として、昭和十二年六月二十日に執行した曳船祭は特筆に値する。尚宣はまた昭和五年夏『六郷々土史稿』を著し、『大東京合併記念写真真帖』（六郷町・昭和七年九月三十日発行）の編集委員としても献身的努力を傾けた。昭和十三年八月十二日没。五十三歳。

○脇参道の石燈籠

(左竿石背面)

昭和十年六月

(右台石背面中段)

八幡塚 會(横書)

(右台石背面下段)

八幡塚 會(横書)

羽田町

石工 鈴木喜太郎

花崗石造り。総高一丈二尺七寸五分。笠石幅四尺七寸。基壇六尺二寸四方。工費七百六十円五十一銭。昭和十年五月二十六日竣工。六月三日奉献式。

八幡塚村は江戸時代から南町・中町・北町の三ブロックに分かれていた。昭和七年、東京市編入に際し、六郷町大字八幡塚は蒲田区六郷町となり、八幡塚という由緒ある地名が消えるのを惜しんで、旧北町の国道西側にてきたのが、八幡塚会という町内会であった。

〇六十五貫目の力石

(正面)

奉納

六十五貫目

人形町内田

町

又□□

喜平

安五郎

平七

伊之助

脇参道ぞいの庭園入口に立つ。高さ約八十
五糎、胴回り約百二十糎。



秋晴れの創立記念日。ことしは花水木を献木しました。全町会にポスターを出したせい、庭園の野点は順番待ち。模擬店もたちまち売り切れの大盛況。神楽殿の六郷ばやしに拍手をおくる親子連れもたくさんいました。

文化の日さわやかパーティー

(11月3日) — 六郷神社境内の芝生にて —

みなさん、お気軽にお出かけください。お子さまにはおみやげがあります。

午前10時30分より
献木花水木
午前11時より午後3時まで

野点 (御茶券一枚 300円)

模擬店 (雨天中止)

やきそば 100円 ジュース 140円
おでん 100円 缶ビール 100円
おしるこ 100円 お酒 1100円

六郷ばやし演奏

主催 六郷神社崇敬会

力石はむかし若者たちが力だめしに使ったもので、「さし石」と「おったて石」の別がある。川崎大師境内の雲龍石に「当所三ツ家／伊之助持之／明治三年十月吉日／同人納之」と刻まれており、伊之助の名はこの力石にも見えるので、かなり古い力石であることがわかる。なお、六郷橋際の北野神社にも千年石、万年石という力石があり、南六郷三丁目の八幡神社にも力石が残っている。

花水木の話

宮崎 豊

日米の架け橋として幕末から明治にかけて活躍した、ジョン万次郎こと中浜万次郎の数奇な生涯を描いた小説に、津本陽の『梅と花水木』があります。

万次郎は櫓二挺の小船で漁に出、土佐沖で嵐にあい遭難します。しかし餓死寸前のところを、アメリカの捕鯨船ジョン・ハウンドランド号に救助されました。

捕鯨船での生活で船長の信頼を得た万次郎は、その好意で船長の地元の学校に入り、みごと首席で卒業します。

やがて万次郎は、アメリカ娘のキャサリンと結婚しました。しかし不幸にも彼女は事故死してしまいます。二人は子供が男の子ならドッグウッド(花水木)、女の子ならカメラリア(椿)と名付けよう、と約束していました。このことが、小説の題名になったわけです。

ハナミズキは、日本の山地に自生するヤマボウシ(山法師)に似た花をつけるので、かつてはアメリカヤマボウシと呼ばれていました。一九一二年、尾崎行雄東京市長がアメリカに桜の木を寄贈したとき、その返礼として送られてきたのも、この花水木でした。

言葉のこころ

人という文字について

上田 格一

人

篆書の人という字を見ていると、一人で立っているぞという誇らしげな気概が伺われます。

人

その人も、楷書の時代になると、第一画は斜めに倒れていて、その重心を第二画がしっかりと受け止め、力強い右払いが安定した調和を図っています。

大

物々交換や農耕生産が発達し、人は互いに支え合って生きていくものと、三千年も昔の人が共通理解していたとは驚きです。

一人を重ねて書く
と大の字になります。
一人前の人だから大人と言う。その左払いがもう人のように倒れていません。真っ直ぐ立つことから始まります。

では、二人を重ねるとどうでしょうか。
夫という字になりま

夫

対称して使われる呼称ですが、二人分とは言い得て妙、感心してしまいます。
ああ良かった。夫が二人分働いてくれるとは…と女性が考えるのは早計です。妻の立場の人を〇〇夫人と呼ぶことがありません。夫人を分解すれば二人と人ですから、合わせて三人です。それほど、女性の仕事はいっぱいあります。
では、その夫人に先立たれたら夫はどうなるのでしょうか。
戸籍謄本では、夫の字を縦棒で抹消するのです。それは、未なのか未なのか、判然と読み取れないしるしに変わります。
未ならば、イマダ
…セズという意味ですから、夫は未婚？
ではないとすれば、
未亡人？でもないとするれば未しかない。
わが人生も折り返し点を過ぎ

未未

たと自覚していても、この肩書きは気に懸かります。

篆書の昔から、心を表現し、意志伝達の手段として漢字が生まれ、発達してきたものであるだけに、心ない縦棒一本の記号がこうも心を惑わすのです。

私達は考える時、自分の言葉で頭の中に作文をしています。話すときは、それを相手に分かりやすい言葉に変えて、さらにアクセントやイントネーションによって、心の興奮状態まで表現することができます。

書くときも、適切な言葉や文字を連ねて意思表現をします。だから、言語環境次第で、人の心は豊かにも貧しくも育つといっても過言ではありません。社会の変化が激しくて、伝統的な美しい言葉も徐々に聞きしなくなりつつあります。最近のTVや看板などに見かけるおかしな言葉で、人の心がどんなに育つのか非常に心配です。
日本人の豊かな心を育てる基盤は国語に在り、と言いたくて、この一文をまとめました。

◆新入会員紹介

- 仲三・岩崎勝、平野ミエ 西二・石渡建司、吉田康秋、前島義孝、逆井喜代四、荒勝正 川崎市幸区
- ・高橋秀勝 川崎区・矢部一郎 西蒲田・醍醐一雄

◆訃報

中村幸雄（崇敬会常任理事・氏子青年会初代会長）五月三十一日逝去。六十五歳。

謹んで生前のご尽力に感謝し、ご冥福を祈ります。

◆六郷神社獅子舞の少年募集

平成十年のお祭りに奉仕する獅子舞の少年（小学校二年生から）四名を募集しています。心あたりの方は、電話三七三八・八〇五一 足利宅までご連絡を。

◆平成九年度の会費未納の方は、なるべく早くお納めください。

発行 六郷神社崇敬会

〒144 大田区東六郷三十一十八

六郷神社社務所内

電話 〇三三七三二二八八九

振替 〇〇一九〇六一三三五五三

編集 平野順治